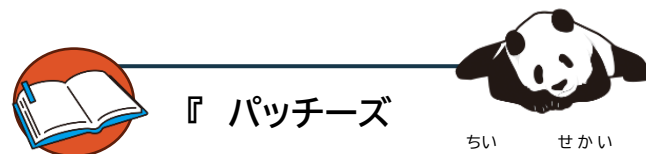




としょかんからおすすめの本をしょうかいするよ！

東近江市立図書館	愛東図書館	050-5801-2266
八日市図書館	湖東図書館	050-5801-2300
永源寺図書館	能登川図書館	050-5801-7007
五個荘図書館	蒲生図書館	050-5802-8342



『パッチーズ』 ちい せかい ぼくらがつなぐ小さな世界』 さとう いわさきしよてん 佐藤まどか/作 岩崎書店



制服のない中学に転校してきた
終。自立つのが苦手で、いつも雨雲の
ようなグレーの服を着て学校へ通う。
ある日、クラスメイトとトラブルにな
り、服がすり切れてしまった。母さん
に内緒でなんとか出来ないか、頭を
ひねりだしたその日から、終の学校
生活は変わり始めた。そう、それはと
ても目まぐるしく、カラフルに。



『黒部の谷の小さな山小屋』 ほしのひでき しやしん ぶん 星野秀樹/写真・文 アリス館



黒部の谷に小さな山小屋が建っ
ているのは、7月から 10月までの
数か月間。山から滑り落ちてくる
大量の雪に押しつぶされてしま
うから、毎年、冬の前に片付けて、夏
になる度に建て直している。

山小屋を建てて、登山客を迎えて、また、
山小屋を片付ける。黒部の谷の人たちは、どん
な1年を過ごしているのだろう。



『ポジション！』 たかだ ゆき こ さく いわさきしよてん 高田由紀子/作 岩崎書店

「背が高いから」と誘われ、
ミニバスに入団した芽吹だ
が、自分より上手い下級生が
入って自信喪失。その後、車
イスバスケットに励むルイと出会
い、芽吹の心に変化が……。
チームメンバーそれぞれが
自分の「居場所」を探し、成長
する物語。



『かがみの孤城』 つじむら みづき さく しや 辻村深月/作 ポプラ社

学校に行けずに悩む中1のころ
は、ある日、部屋の鏡にすいこまれ、
その中に建つ城に招待された。なん
と、その城にかくされた「カギ」を見
つけると、なんでも一つ願いがかな
うらしい。城に集められたのは全部
で7人の中学生。みんなと仲良くな
ったころは、毎日城に通うようにな
るけれど……。勇気がもらえる感動
の物語。



『わたしは、あなたとわたしの 区別がつかない』 ふじた そうま ちよ 藤田壮真/著 KADOKAWA

自分が見ている世界と、ほ
かの人が見ている世界は違
うらしい。この絶妙に奇妙な
風景を伝えたい。そう感じた
15歳の自閉症当事者が、これ
まで生きてきて感じたこと、
困ったことなど素直な気持ち
をつづります。





『やなやつ改造計画』

かいぞうけいかく
よしの まり こ さく しょうぼう
吉野万里子/作 あすなろ書房

よ なか ひと
世の中の人を「いいやつ」と「やなやつ」に分けたら、自分はどっち？
あくゆう はんてい
悪友ヤナギに「やなやつ」判定された光也の目標は、生徒会長になること。しかし、「やなやつ」が当選できるだろうか？ 光也とヤナギ、それから幼馴染のモリリは、選挙を前に「いいやつ」とは何かを考えはじめる。



『ぼくのシェフ』

はせ がわ さく しゅつぱん
長谷川まりる/作 くもん出版

さい で あ てんさいてき
13歳のシャルルが出会ったのは、天才的な料理センスをもつ年下の少年アズレ。数年後一緒に働きだした2人でしたが、アズレの料理は、「国いちばんの料理人」になることを目指しているシャルルや他の料理人



たちを焦らせます。しかし、アズレが抱えていた思いは、周りの人たちには想像もつかないものでした。



『14歳の君へ』

かんが い
どう考え どう生きるか』

いけだ あき こ ちょ まいにちしんぶんしゃ
池田晶子/著 毎日新聞社

い 生きていると出会う答え
のない疑問。本やネットで調べてもわからない。そんな時は自分の頭で考えるチャンス。でも、どうやって？ 考え方のマニュアル本ではないけれど、考えるためのヒントが見つけれはるはず。



『黄色い夏の日』

きいろ なつ ひ
たかどのほうこ さく ふくいんかんしよてん
高樓方子/作 福音館書店

ちゅうがく ねんせい けいすけ びじゅつ ぶいん
中学1年生の景介は、美術部員。7月の暑い日、部の課題で絵を描くため、草と黄色い花に囲まれた古い洋館を訪れる。住人のおばあさんに誘われ、お茶をごちそうになった景介の耳に、女の子の声が聞こえてきた。——時空を超えて響き合う、いくつかの魂の物語。



『異聞今昔物語』

いはんこんじゃくものがたり
はなし あつ しょうねん き しょうじょ
話を集める少年と消えた少女』

もりや あき こ さく かいせいしゃ
森谷明子/作 偕成社

へいあんじだい あ みやこ
平安時代の荒れた都で、ひとりたくましく暮らす草太は、昔の話を集めている妙な坊さんと出会います。「今は昔…」、坊さんの話にぐんぐんと引きこまれていく草太。西の市で知りあった少女・千萱にも聞いてきた話をしますが、ある日、その千萱が姿を消してしまいます。

『今昔物語集』の面白さがいっぱい詰まった本です。



『二番目の悪者』

はやしきりん さく しょうの え ちい しょうぼう
林木林/作 庄野ナホコ/絵 小さい書房

おうさま ねが きん
王様になりたいと願う金のライオン。けれどみんなは、銀のライオンの方が王様にふさわしいというのです。

くやくしく思った金のライオンは、銀のライオンになぐられたと、ウソのうわさを流します。

